

第54回

海外研修航海

TOKAI UNIVERSITY



東
海
に
し
か
な
い
経
験



研修
期間

2025.2.11 [火・祝] ▶ 3.14 [金] 32日間 (予定)

(事前研修を2025.2.8(土)~10(月)望星丸船内にて実施)

コース

日本
(清水)

日本
(小笠原・父島)

ミクロネシア連邦
(ポンペイ)

パラオ共和国
(コロール)

日本
(清水)

応募
締切

2024.10.18 [金]まで

募集
人員

研修
学生 97名

参加
費用

340,000円

※燃油代の動向によっては、
燃油サーチャージを徴収
することいたします。

お問い合わせは、海外研修航海事務局まで

※内容は情勢等により変更となる場合があります。
変更の場合はTIPSにてお知らせします。

主催/東海大学 事務局/キャンパスライフセンター E-mail : osec@tokai.ac.jp

応募の詳細は
こちらから!!

ウェブサイト



facebook



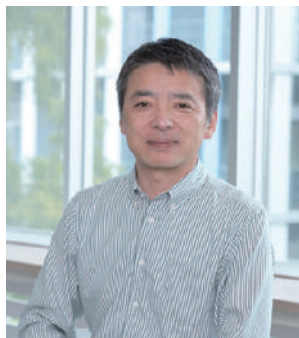
Instagram



Message

一步 踏み出して みよう

団長 森下 達哉



東海大学海外研修航海は今年度で54回目を迎えます。途中新型コロナウイルスの影響で2年間の中断期間を挟むものの50年以上の間、多くの先輩達が参加し培ってきた他に例を見ない東海大学ならではの教育プログラムです。

第54回海外研修航海の概要を紹介します。東海大学所有の望星丸に、国内7キャンパスから集まる研修学生、同行教職員(団役員)及び、望星丸乗組員、海洋学部航海工学科航海学専攻学生の総勢約150名が乗船し研修団を構成します。その他、訪問国との調整等各種手続きをはじめ研修全般の支援を担当する海外研修航海実行委員会や寄港地等での現地サポート部隊などかなり多くの方々に支えられて研修が行われることになります。母港のある清水を2025年2月11日に出発し、小笠原諸島父島、マイクロネシア連邦ポンペイ、パラオ共和国ロールを経て、2025年3月14日に清水に戻る航路となっています。寄港地に上陸して行われる研修では、現地の文化体験など様々なアクティビティや現地の大学等との学術・文化交流が計画されています。

また、固有種の割合が高いとされる小笠原諸島、巨石による建築物群が壮大なマイクロネシア連邦ナンマドール遺跡、そして珊瑚をはじめとして多様な生物が数多く生息するパラオ共和国南ラゲーンのロックアイランドのように、世界遺産として登録された自然環境や遺跡を訪れて研修することも計画されています。

さて、海外研修航海中は船内での生活となり、日程の2/3は航行中の船内での生活となります。まさに研修団で寝食をとまにすることになります。これがいろいろな意味でかなり濃密です。はっきり申し上げて我々に与えられる空間は広くなく、研修当初は、望星丸の環境にも驚くと思います。家族も含めて他人と狭所でこれだけの時間を共にすることはなかなか経験することがないことだと言えるでしょう。この経験を通じて、他人のことを深く理解し、また自分の特性もよく理解することができるようになりますと私は考えています。お互いを深く理解し合えるようになるからこそ、研修終了後も同期でのつながりが長く続くのだと思います。

第54回海外研修航海には、医師1名、看護師1名を含む計11名の東海大学所属の教職員が乗船致します。教職員一同、有意義な研修を行えるよう全力で研修団をサポートすることをお約束します。この紙面では、海外研修航海を詳しく紹介することは難しいです。ぜひ、対面、遠隔を問わず説明会に参加して頂きたいと思います。52回、53回参加者の経験談を聞く機会も設けられると思います。

東海大学だからこそ実行できる海外研修航海に、多くの学生に参加して頂きたいと切に切に思っています。

一步踏み出してみてください。きっとそこには経験したことのない世界が広がっています。

第54回海外研修航海 募集要項

研修目的

海外研修航海は、本学の建学の精神に則り、東海大学に在籍する学生から、広く研修学生を公募・選考し、本学所有の海洋調査研修船を使用して諸外国を訪問し、海外の諸文化・諸事情に触れ、国際的な視野に立った人生観・世界観を確立させると共に、船内という限られた生活環境の中で、教員・仲間との共同生活を通じて協調性を養い、より豊かな人間形成をはかることを目的とする。

第54回海外研修航海 募集要項・申込はこちらから
<http://tokai-ship.jp/>

